



通信

HP 学校だより
R6.1.17
NO.35
文責 伊藤美佳



授業前の時間で

午前8時20分に豊坂小学校の1日は始まります。今月の歌を歌い、健康観察をして担任の先生から連絡を聞いたり、配布物をもらったり。午前8時30分になると音楽が流れ、各曜日の取り組みがスタートします。

月曜日は「とよさかタイム」です。お題に沿って、グループで話し合ったり、伝えあったりします。グループを変えることで、たくさんの子とお話できます。「とよさかタイム」のルールで、必ず「にこにこ笑顔」で、先生や友達の話「うなずいて」聴き、最初に「お願いします」、最後に「ありがとうございました」を忘れずに言うことになっています。こうやって聴いてくれば、話す方も安心して話せます。また、今週の月曜日には、担任の先生が入れ替わって「とよさかタイム」を行いました。どのクラスも楽しそうに活動していました。メンバーが変わることで、毎回楽しく話ができ、友達のことをたくさん知ることができます。そして、自分のこともたくさん知ってもらえます。

火曜日は、朝会か集会、どちらもなければ読書タイムです。読書タイムは他にも水曜日の読み聞かせがない日と金曜日です。読書タイムをスタートしたのは、令和4年からです。コロナ禍でコミュニケーション不足が叫ばれていたころ、子どもの語彙の少なさが気になりました。語彙を増やすには、やはり読書が大切だと考えます。読書により、豊かな想像の世界に浸ることもできます。また、多くの人々の考え方、生き方にも触れることができます。小さいころからそうやって豊かな世界に身を置くことで、これからの生き方も変わっていくと考えます。子どもの読書、そして大人も読書をお勧めします。

このように、授業前の10分間ですが、読書をしたり、友達と楽しく話をしたりすることで、子どもの心が豊かになればと考えています。

朝から活動する子どもたちのために、お願いしたいことがあります。それは、生活のリズムを整える（「早寝、早起き、朝ごはん」の推奨）ことです。特に、「朝ごはん」が午前中の子どもの学びを保障するためには重要です。朝ごはんを食べるためには、早起きが、早起きするためには早寝が重要になります。エネルギーなしでは、エンジンは動きません。しっかりと、朝ご飯を食べて、エネルギー満タンの状態で朝の活動に望んでほしいと思います。

子どもたちの学びが充実するように、ご家庭のご協力をよろしくお願いいたします。

自分たちにできること

「被災地の方々のために、自分たちは何ができるか」代表委員会の子どもたちは、1日考えました。そして、次の日考えをもち寄って決めたのが「募金」です。代表委員会の子どもたちが呼び掛けますので、ご協力をいただければと思います。

幸田町は石川県の内灘町と災害時相互応援協定を結んでおり、役場の職員の方々も早々に支援に向かわれたと聞いています。子どもたちが考えた「自分たちができること」を実施し、少しでも支援につながればと考えます。